

市長プレゼンテーション【市民＝市長】

No	質問	回答
1	<p>なぜ新設校が必要なのかという意見はグループワークで、どの班も出ていた。運動場面積は足りており、JRやスクールバスを使えば、神興小や神興東小は通えないほど不便な場所でもない。46億円をかけずに対応できないのか？</p>	<p>JRやスクールバスを使うなど、校区再編については2通り考えられる。①一定の地域に住む児童生徒はJRやスクールバスで決まった校区に通う方法、②地域を特定せずに他の校区にも通える自由選択という方法。過密化が進む福間小と福間南小のうち例えば福間南小校区の日蒔野6区のみ特定してスクールバスで他の遠方の校区に通う方法は保護者の理解を得るには時間がかかるのですぐできる方法ではない。学校建設には3～4年かかるので、地域を特定せずに他の校区にも通える自由選択という方法であれば児童が増えていない神興小や神興東小のうち特に空き教室がある神興小では可能だと考える。</p>
2	<p>人口が急増している場合に開発を制限する。例えば市内を何等分かにして1つの開発を終わらせ、その開発地域の子供が小学校卒業後に次の校区をつくるなど制限をしている例がある。規制をかけて人口急増を防ぎ児童生徒の人数が増えない政策を行う自治体があるが、なぜこれからでもそういった規制をかけないのか？</p>	<p>現段階の少し先でピークが来て、その後安定となる見込みとなっている。もし、そうした規制をするのであれば、もう少し早い段階でやるべきであった。現段階で市内を区分して人口流入を防ぐようなことは、手続きも含め大変難しい段階だと考える。</p>
3	<p>中学校は1,200人というラインで書かれている。70億円かけて改築された福間南小と福間小はどれ位入るのか？</p>	<p>福間中学校は改築中で1,200人収容でき1学年10クラス入る。それでも足りなくなる。福間南小は55教室、福間小は50教室、普通教室に児童が40人入るとすれば福間南小は2,200人、福間小は2,000人入る。この規模の小学校は全国でもない。特別支援教室への転用もあるのですべてが普通教室とはならない。70億円の改築で福間南小も福間小も教室は確保されているが、1人あたり運動場面積はあり得ない位に狭い状況になる。</p>
4	<p>義務教育の質がどう転換していくのか。例えば設置基準、平成14年に出された設置基準の基準面積の背景はおそらく9～10㎡を下回ってしまうと児童の体力低下の可能性があるという有識者の進言で設置基準を設けたと思われる。一人当たり4㎡、5㎡、9㎡と大きく小学校間で違う面積、今、そこに通う児童の体力にどの位の差があり、最低10㎡にして何が変わるのかの推計はされたか。教育の質を変えるために何を基準として考えているのか？</p>	<p>児童の体力低下は、生活様式の変化もあり問題となっている。そうした中で1人あたり面積という設置基準がある。児童の体力にどのような影響があっているのかは今は答えられない。ただし、特に小学生は授業の合間に、伸び伸びと校庭を走り回れる環境の必要性を感じている。そうした中、福間南小と福間小では教員一丸となって過密化して校庭が狭くても運営をされているが、決まった曜日しか校庭では遊べないという状況、それを憂いているから校区再編をしてでも小学校の建設を考えている。</p>

教育委員会プレゼンテーション【市民＝教育委員会】

No	質問	回答
1	プレゼンテーションを聞いて、竹尾緑地の地盤は他の小学校の地盤と比較しても、問題ないという点では安心した。ボーリング調査は、手光中央公民館(わかたけ広場)の結果はないのか？	わかたけ広場のボーリング調査は中央公民館建設の際のデータはあり岩盤が確認されている。ただし、手光中央公民館(わかたけ広場)で小中一貫校を建設するには面積が不足して狭いため近接した農地の購入が必要となる。
2	小中一貫教育は手光中央公民館(わかたけ広場)でもできると思うが、竹尾緑地を推している理由は？	竹尾緑地で進めたい最も大きな理由は、校区再編が不要ということ。福津市が現在取り組んでいるコミュニティ・スクールの継続と小中9年間の学び、連携を何よりも重視している。具体的には、学校長や保護者代表、有識で構成される通学区域審議会より、小中一貫型の学校建設を進めてほしい、校区再編は保護者と子どもたちにとって負担が大きいので避けてほしいという意見をいただいている。
3	竹尾緑地の安全性を考えた場合、配置案について一種低層住宅側の方が元地盤が残っているので地盤改良が不要で建設費が少なくて済むのではないのか。	【意見・提案】
4	竹尾緑地はゲームセンターなどがあるイオンモールと隣接していて文科省の学校建設の基準は満たして学校を建てられるのか？	学校があり、その近くに新たにゲームセンターをつくる場合は規制がある。しかし、ゲームセンターが既にあり、その近くに学校をつくる場合は、法的な問題はない。また、ゲームセンターのみがあるのではなく、イオンモール内に入っているものであり、教育上の問題はないと考えている。
5	津屋崎地区は津屋崎小から津屋崎中まで9年間一緒に、メリットを感じられない。子どもにとって9年間一緒に本当が良いことなのか。再編がなければ周りの人に変化がなく、新しい刺激がないと思うがいかがか？	人間関係の変化は必要だと考えている。津屋崎中は津屋崎小だけでなく勝浦小も一緒になる。中学校に上がれば新しい学習・生活スタイルに変わるから生徒に刺激はあるはずで、先生も変わり新しい出会いもある。津屋崎中では地域に関わるコミュニティ・スクールの活動が広がり小学校ではなかった体験で刺激は多い。人間関係はクラス替えもあるので変わっていくものだと考えている。
6	教育委員会と市長とで2つの案が出て対立構造に見える。これまで権限の問題等で色々あると思うが、本来、一枚岩で検討すべき。市長の案も検討の候補に入っているのか。1つの案だけを推して、市民にコンセンサスを得る機会が少ないのではないのか。市長案は全体最適、一方で教育委員会案は部分最適を考えている。早期に建てる意気込みは分かるがよく市民の意見を聞く市政の基本姿勢をもって教育委員会はもう少し柔軟に市長案も認めないと進み具合が遅いということが気になる。	【意見・提案】
7	教育委員会が主導で法制的にも進む問題であり、今回の市民意向調査以前にも市民の意見を聞く場は設けたと言われるが当然の答えだが誤謬(小さな視点では正しいと思っても全体を捉えてみれば不適正なことが多い)に感じる。このことを懸念してほしい。	【意見・提案】

教育委員会プレゼンテーション【市民＝教育委員会】

No	質問	回答
8	10月の終わりの総合教育会議を市長が開催するとのことだが、限られた場と感じる。ネットを使ったアンケートもスマホ対応で10万円位で可能なので、そうした取り組みも是非入れて合意形成してほしい。今回の意向調査は良い取り組みだったと感じる。	【意見・提案】
9	スクールバス等を使用した校区再編について教育委員会の意見は？	スクールバスを使用した場合のシミュレーション結果では、神興小は空き教室が6教室、40人学級が1つで6学年で240人で、1クラスなら6学年を受け入れられる。神興東小は空き教室が3教室しかないの、6学年すべてを受け入れることは厳しい状況である。上西郷小は40人のうち概ね25人で1学年に1学級入っている。残りは1学年1学級で15(=40-25)人の6学年で90人が受け入れ可能である。神興小と神興東小は大型バスが入れないため中型バス25～26人乗りで運ぶことになり、例えば240人運ぶには10台バスが必要である。そもそも、240人だけで過大規模校が解決とならないほか、バスの維持費用に加え校区再編の希望者が集められるのかなど非常に厳しい問題が多い。そこで、校区を大事にしていくコミュニティ・スクールを進める現状ではスクールバスは難しい。
10	町史で竹尾緑地の活断層のことを書かれた先生の名前は？	下山正一 先生である。 先生からの指導では、60万年前の古い活断層がある。地震は断層の長さによって被害の大きさが比例するもので、古く、短いことから大きな危険はないとのことであった。
11	竹尾緑地で学校を建てる位置は①案と②案があるが、ボーリング調査の場所とは違うのはなぜか？	①案と②案のボーリング調査は竹尾緑地に決まれば、本来、基本設計で実施するため、現状は既存のデータしかない。調査箇所①は一定程度の盛り土が終了しているため校区②案に使用している。竹尾緑地の地形の特性として校舎①案と②案の山手の地質は非常に硬い風化花崗岩の砂質層(N値50が出る地層)なので、地盤が安定した山手に校舎を建てたい。
12	竹尾緑地の学校はどれ位の基礎を打つのか？	基礎の内容は、現段階で示すことができない。構造物の大きさを定め地盤調査等をもとに設計した段階で示せるようになる。
13	竹尾緑地の川沿いの道路で水が湧いているが対処はしないのか？	運動場になる(現在は駐車場)部分は一定の造成工事は終わっている。新たに高さを設定して盛り土をする部分もあるが、高さで7m程の盛り土が終わり一定の安定した地盤で道路としても安全な状況である。
14	5-4制にすることで懸念するのは、小学6年生は同じ校舎で6年間学び、最上級生として下級生の世話をすることで喜びを感じ、下級生のモデルとなってリーダーシップを発揮するといった貴重な成長の1年間を失うことになるのではないか？	リーダーシップを発揮する機会も設けることは考えている。小学6年生は原則中学生と過ごす、小学校行事の運動会や入学式、卒業式等には小学校に戻ることを考えていて特別教室を待機場所とする。これまで6年生はお世話する側だったが、中学校施設で学ぶ中で直接先輩のリーダーシップを取る姿を見て身に付け、小学校に戻った6年生が下級生に伝えることができると考える。
15	小中一貫で全学年が同じ敷地にいるならばよく分かるが、分断されるなら最上級生を5年生にした方が良いのでは？	【意見・提案】

教育委員会プレゼンテーション【市民＝教育委員会】

No	質問	回答
16	竹尾緑地の立地は福間中に近く市の南の端である、選んだ理由をもう少し詳細に知りたい。	福間中校区で福間南小と福間小が課題規模校で福間中も課題規模校に確実にする中で、この3校と同じ校区内に小中一貫教育施設を建てることで、まとめて緩和が図れるというのが選定理由である。
17	子どもが福間小に通っている。手光中央公民館(わかたけ広場)に小学校を建てる場合と竹尾緑地に小中一貫教育施設を建てる場合を見た場合、竹尾緑地に小中一貫教育施設では福間小を犠牲にしているように見える。手光中央公民館(わかたけ広場)だと狭いから小中一貫校を建てるには土地購入が必要なので竹尾緑地にするというのでは納得できない。	何も対応しなければ福間小は令和7年に1,727人になるが、竹尾緑地に小中一貫教育施設を建てることで過大規模校のままではあるが1,439人に抑えられ300人程度の緩和になる。ただし、福間小の過大規模緩和策については、さらに対応の検討が必要である。手光中央公民館(わかたけ広場)は土地購入のこともあるが、それよりも校区再編により4つの小学校区が大きく分かれるということが非常に大きな問題だと考えている。また、福間中校区内に他にまとまった土地が無い中で、児童生徒数のピークが、福間南小は令和7年、福間小は令和10年、福間中は令和13年に迫っており、早期に建てるためにも市有地である竹尾緑地を選定した。
18	イオンモールから福間駅に向かう道路で地下水が湧いているが湧かなくなる対応は考えているか。そもそも谷を埋めたからで、またさらに谷を埋めるのは切なく悲しい。道路にあふれる地下水の対応なくして未来に誇れる構造物にはならないのではないか？	道路部局ではないため明確なお答えはできない。道路に地下水が湧いていることは承知している。原因がURの造成工事なのかは分からない。学校を建てる場合には市として現状も含め何らかの取り組みは必要で、学校建設で影響が大きくなれば、合わせて取り組む必要があると考える。建設が決まれば道路部局と動いていく。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育課程での基礎学力の担保は教育基本法上の使命である。今回、福津市の教育システムとして5-4制を入れることで教育のシステムが複線化してしまう中で10年程度で児童生徒数が減る見込み、転入、転学もある。プレゼンでは教育の質の担保を強調されていたが、教育委員会として、学力の担保をどの位の話しをしたのか(教育長へ質問)？ ・教員負担が問われ、さらにコロナ禍で教員の働き方改革が言われている中で5-4制に変わることによって負担が増えることを危惧している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5-4制に固執しているのではなく、連続した教育が求められている教育システムと考えている。合わせて生徒数を考慮して過大規模校を緩和していくもので、全中学校区に5-4制を当てはめるものではない。福間小の校区には5-4制、生徒数によっては4-5制も考えられる。国も令和4年度から5年生以上に教科担任制を導入することになる中で、5-4制で小中学校の先生方が日常的に交流する機会ができ、スムーズな移行が期待できる。また、小学6年生で早く中学校の教科や生活を経験することができる。今、福間中校区では5-4制がよりベターな教育システムと考えている。 ・確かに、教育システムの変更で教員負担が多少増える部分はあるだろうが、それだからといって変更しないという手はないと考える。開校まで4年から5年ある中で先生方と協議しながら進めていきたい。教育というのは、こうすればこういう子どもが育つという根拠を示すのは困難である。そこで、仮説を立てて試行錯誤しながら関係者と協議しながら進めるものである。改革に終わりはなく、よりベターな方法を求めていきたい。
20	日蒔野6区は人口増に伴い交通量が増加して、車の通り抜けが問題となっており、特にイオンモールからが多かった。自治会としてイオンモールに申し入れをして看板等を設置してもらった。最近では親が子どもを送迎することが多く、竹尾緑地に小中学生が通う学校が建てば送迎の増加を懸念しており、この点はどのように考えているか？	仮に学校を建てることで交通量が増えるようであれば、送迎禁止を保護者をお願いするなど運用面での対応を考えていくとしかお答えのしようがない。
21	竹尾緑地に学校が建てば、体育祭の際にイオンモールに駐車することが想定されるが、そうしたことをイオンモールと協議したのか？	体育祭の際にイオンモールに駐車することについて、現在、福間南小等では運動会に車は使えないようになっており、同様に保護者をお願いするとしてお答えのしようがない。学校建設が決まっていないため、イオンモールとの協議は行っていない。決まれば、協議する。

教育委員会プレゼンテーション【市民＝教育委員会】

No	質問	回答
22	<p>日蒔野6区は水浸しになることが懸念される。竹尾緑地内もボーリングデータのスライドの竹尾緑地の文字がある真ん中の部分は雨が降ると、ぬかるんで歩けない。同じく調査箇所①の南西部分にいつも水が溜まっているが、解消する見込みはあるか。また、自宅近くのイオンモール従業員駐車場付近から水が流れてくるので市役所に相談したがいまだに解消されていない。他にも近隣の集合住宅入口付近も、いつも水浸しになっている。</p>	<p>【No18回答と合わせて回答 ※「道路部局」を「公園部局」に読み替え】</p>
23	<p>教育委員会は校区再編がないことを強調され、中学校を問題にされている。中学校は6km以内が通学可能であるならば、日蒔野から津屋崎中に通うことも可能だと聞いた。市長は最大2,800人の中学生を3校に分けることも可能ではないかと言われたが、同感で中学校なら校区再編は可能ではないのか？市長の案をどう考えるか？</p>	<p>中学校までの距離で考えると、中学生は、校区再編を行い現在と異なる校区の中学校に通うことが可能とも考えられているが、子どもへの負担は確実にある。また、小中一貫のコミュニティ・スクールを進めるうえで、小学校区と中学校区がばらばらになるのは、ものすごくエネルギーが必要で、教育委員会としては校区再編は極力避けるべきだと考えている。</p>

全体【市民＝市長・教育委員会】

No	質問	回答
1	市長のプレゼンのスライドで総合教育会議の図の1対5の構図が心配になる。市長は福津市民の過半数の心を託されて選ばれた人。もう少し教育委員会が市長に寄り添ってもらいたい。	【意見・提案】
2	両者のプレゼンで感じたのは片手落ちの気がする。両者の意見をまとめたうえで市民に問うべきではなかったか。市民に判断を求められても意見が言いづらい。例えば市長は過大規模校のことだけであったが、ここに教育委員会の小中一貫を入れるとどうなのかなど、合わさった案(せめて数字は合わせてほしかった)があってもよいのではないかと？	<p>【市長】手光中央公民館(わかたけ広場)は、財政計画の中で元の役割を終えることを基幹決定した。これまで自分が市長の間も70～80億円を学校増築等に投じてきた。今、許される財政計画の中で学校は1つという案であった。教育委員会は昨年の8月以降、竹尾緑地に中学校の5-4制の案を庁議に提案していた。市民の意見を聞く必要性があり、地域のPTA等に案を提示した中で、様々な不安があったため、手光中央公民館(わかたけ広場)に小学校を建てる案を正式に検討を指示し、7月30日の総合教育会議では教育長はじめ5名の教育委員会に問うた。今回の市民意向調査の結果も踏まえて10月30日の総合教育会議で示したい。教育行政なので教育委員会の案には最大限配慮尊重しながら協議する中で、教育委員会からは竹尾緑地に決まればボーリング調査等もするという回答だった。市長としては現在の懸念事項解消や他に適地で安全な場所はないかなど、近隣市町村のプロセスも参考にしてきた。現段階ではこの意向調査の皆さんの意見も入れて教育委員会と同じテーブルで総合調整権を持つ市長として、教育のソフト面も含めて協議して早期の解決を図りたい。意見を言いづらい点は申し訳なく思う。</p> <p>数字については、コロナ禍で人口流入のスピードが鈍った。教育委員会の使用した数字は、市長直轄部局のまちづくり推進室が昨年5月に出した公式の数字を使用して見込んでいる。一方で自分の数字は、まちづくり推進室職員と人口が本当にそこまで伸びるのかを検証したもののだが、公式に発表したものではない。</p> <p>【教育委員会】特になし</p>
3	子どもが福間小学校に通っている。どちらの案も開校まで4年位かかる。それまでの間をどうされるのか？それぞれの案を聞きたい。	<p>【市長】福間南小の方が福間小よりも児童数が多いが福間小の方が一人当たりの面積が狭く過密感が異常。教室数は足りているがどちらに建てるにしても3年半から5、6年かかるかもしれない。通学区域審議会でも校区再編はできるだけ伴わない方がよいという中で当面の対応もやるように答申が出た。強制ではなく通わせたい意思があれば十分でなくても上西郷小や神興小、神興東小の空き教室等の活用は検討すべきだと思う。</p> <p>【教育長】今後4年間の対応として、既存の校舎で福間小と福間南小に通うことは可能だが過大規模校であることは間違いなく、また令和6年から福間中で教室不足が生じる。</p>
4	令和6、7年から解消されると言われるが、現状の課題の解決方法はどうかはプレゼンしていない。先生の確保、質の維持も含めランニング費用の見通しが立っているのか。学校を建てるのが目的になっていないか？	<p>【市長】新設校ありきではない。当面の対応は重要、校区再編をしないという前提があると何もできない。強制的ではない勝浦小のように自主的に選択する施策が必要。教育委員会の情熱が試されており教室数が足りているということだけでは、これからの3、4年はやって行けない。地域ではフラストレーションが溜まっており新設校案が出てきた際には、新たな懸念が生み出されている。市長として介入と言われても総合教育会議の場で教育行政に物を申していきたい。また、ランニング費用への懸念については、地方公共団体には地方交付税という仕組みがあり、国勢調査が丁度あっているが、現在、福津市は67,000人いるが57,000人分の交付税しか入っていない。今度の国勢調査で住民基本台帳のとおり67,000人に増えれば今よりも毎年7～8億円多く交付金が入る。また学校を1つ多く配置すると地方交付税が1～2億円増える。このように義務教育費は国の交付金によって担保される仕組みがあるので増えた交付金をランニングコストに充てていくことになる。</p> <p>【教育委員会】特になし。</p>

全体【市民＝市長・教育委員会】

No	質問	回答
5	この意向調査の1～2か月前に小学校でアンケートがあったと聞いたが、教育委員会からの指示か、学校が流したのか？	【教育長】アンケートを教育委員会がお願いしたことはない。PTAで判断されて行われたと思う。結果については、福間南小はホームページに挙がっていて教育委員会も市長も結果を受け取っている。
6	新設校に対する教育長の熱い思いを聞きたい。	【教育長】コミュニティ・スクールの発展と小中連続性のある教育、地域と密着した学校地域ごとの特色ある学校活動をやっていただく、それが大きな柱である。
7	相手の案のダメなところを聞きたい。	<p>【教育長】今、本市の進めている教育の中で小学校だけを建てるというのはいかがか。小中一貫の学校を建てるのであれば過大規模の解消・緩和にもなるし、そこで新たに地域を形成して、新たなコミュニティ・スクールもできると思う。財源、時間等を配慮して、市有地である竹尾緑地を学校用地に活用して5-4制の小中一貫教育施設を建設して活路を開きたい。手光中央公民館(わかたけ広場)と竹尾緑地も埋蔵文化財の調査をしなければならない。スピードが求められるが、どちらであっても最低でも4年もしくは5年かかるのではない。</p> <p>【文化財課長】埋蔵文化財の調査について、2案で調査期間を試算した。竹尾緑地はURの開発で先に試掘をして遺跡の有無が分かっており0.25か月(2,500㎡)で済む、仮に遺跡が見つかって本掘をする場合、9.65か月かかり、合わせて9.9か月かかる。一方、手光中央公民館(わかたけ広場)は周辺で重要な遺跡が出ており遺跡が出る可能性が高く中央公民館建設当時には試掘ができていないことから試掘には2.98か月(19,200㎡)かかり、仮に遺跡が見つかった場合26.5か月かかり、合わせて28.83か月かかる。遺跡が出た場合大きな差になり危惧している。</p> <p>【市長】もし竹尾緑地でボーリング調査をして帯水層に当たり水が湧いて土壌改良が必要になれば、セメントを大量に入れて基礎を打つためガチガチに固める技術を用いて安全な学校とするため大きな構造物を配置することになる。日蒔野6区で水が湧くのは竹尾緑地だけが原因ではないだろうが、イオンモールと違い竹尾緑地は元々、沼地である。そこに市の開発により巨大な構造物を設置したことによって、今でも周辺で湧いている水が、少しでも別の場所で湧いたり、井戸の水質が変わったりした場合、市が訴えられる。教育委員会よりも市長が訴えられる。ため池でも水位を下げるというが水利権者が印鑑を押さないと下げられない問題もある。学校を建設することで懸念される環境への影響の責任を考えて、最大限そういう懸念がなく安全な場所、児童(生徒)数が激減しない場所、市の発展に資する場所にしたい。校区再編が伴っても辞さないで進めたい。また、PTAが行ったアンケートについても竹尾緑地案とほとんど検討されていない手光中央公民館(わかたけ広場)案の比較がされ市長の質が問われ市政運営を混乱させているという懸念を生じるようになった。学校新設をめぐる教育委員会との関係に原因がある。次の総合教育会議で皆さんの意見も反映させて決めなければならないということになったことは反省している。</p>
8	小中一貫というのは6年生から入る5-4制のことか？	【教育長】6-3制の小中一貫もある。施設一体型と施設分離型があり、6-3制のほか、5-4制、4-5制、4-3-2制などがある。小中一貫とは小学校から中学校までの9年間を見通した教育課程を編成し連続性と系統性のある活動することになり、市全域で進めていく。竹尾緑地の新設校と福間中には、5-4制を導入して福間小と福間南小も合わせて過大規模校の緩和につなげる。